

独立行政法人工業所有権情報・研修館 の業務ご説明資料

～ 知財経営支援の中核機関として ～

2024（令和6）年6月6日



独立行政法人 工業所有権情報・研修館 [INPIT]
National Center for Industrial Property Information and Training



- 1 INPITのプロフィール
 - 2 INPITの組織体制
 - 3 理事長のメッセージ
 - 4 INPITのミッション・ビジョン・バリュー
 - 5 INPITの提供する事業について
 - 6 INPITの相談窓口、専門の支援窓口
 - 7 INPIT知財総合支援窓口におけるサービス
 - 7-2 INPIT知財総合支援窓口におけるサービス（加速的支援）
 - 8 知財戦略エキスパート
 - 9 シーズから事業化までのシームレスな支援体制
 - 10 公募型の知財支援事業（iAca、iNat、IPAS）
 - 11 IPランドスケープ支援事業
 - 12 知財交流の促進事業
 - 13 グローバル知財戦略フォーラム2024
 - 14 J-PlatPatとは
 - 15 J-PlatPatを使うメリット、コンテンツの提供
 - 16 Graphic Image Park（通称：GrIP）とは
 - 17 海外知財情報、開放特許情報
 - 18 社内研修にも活用できる「IP ePlat」
 - 19 知財活用事例の提供、各種研修の実施も！
 - 20 「明日の産業人材」を育てます！
 - 21 INPITの地方拠点「INPIT-KANSAI」
 - 22 関西ビジネス知財フォーラム
- 参考①② 4者連携（特許庁、日本弁理士会、日本商工会議所）
- 参考③ 関係機関との連携協定

1 INPITのプロフィール



[名称] 独立行政法人工業所有権情報・研修館 (INPIT)
National Center for Industrial Property Information and Training

[設立] 平成13年 (2001年) 4月1日

[予算] 116億円 (2024年度予定)

[役職員数] 107名 (役員4名 (非常勤2名含む) 職員103名)
(2024年4月現在)

※ INPITは、経済産業省所管の独立行政法人です。

[所在地]

■ 本部事務所：東京都港区虎ノ門4-3-1 城山トラストタワー8F

○海外展開知財支援窓口 ○営業秘密支援窓口

○アカデミア知財支援窓口 ○スタートアップ知財支援窓口

【総務部、研修部、知財人材部、知財情報基盤センター (情報システム部、知財情報部)、知財活用支援センター (地域支援部、知財戦略部)】

■ 特許庁分室：東京都千代田区霞が関3-4-3 特許庁庁舎1F・2F

○公報閲覧室 ○産業財産権相談窓口

【公報閲覧・相談部】

■ 虎の門分室：東京都千代田区霞が関3-8-1 虎ノ門ダイビルイースト2F・7F

○一般研修教室 ○VDT研修教室

(旧名称：虎の門三井ビルディング)

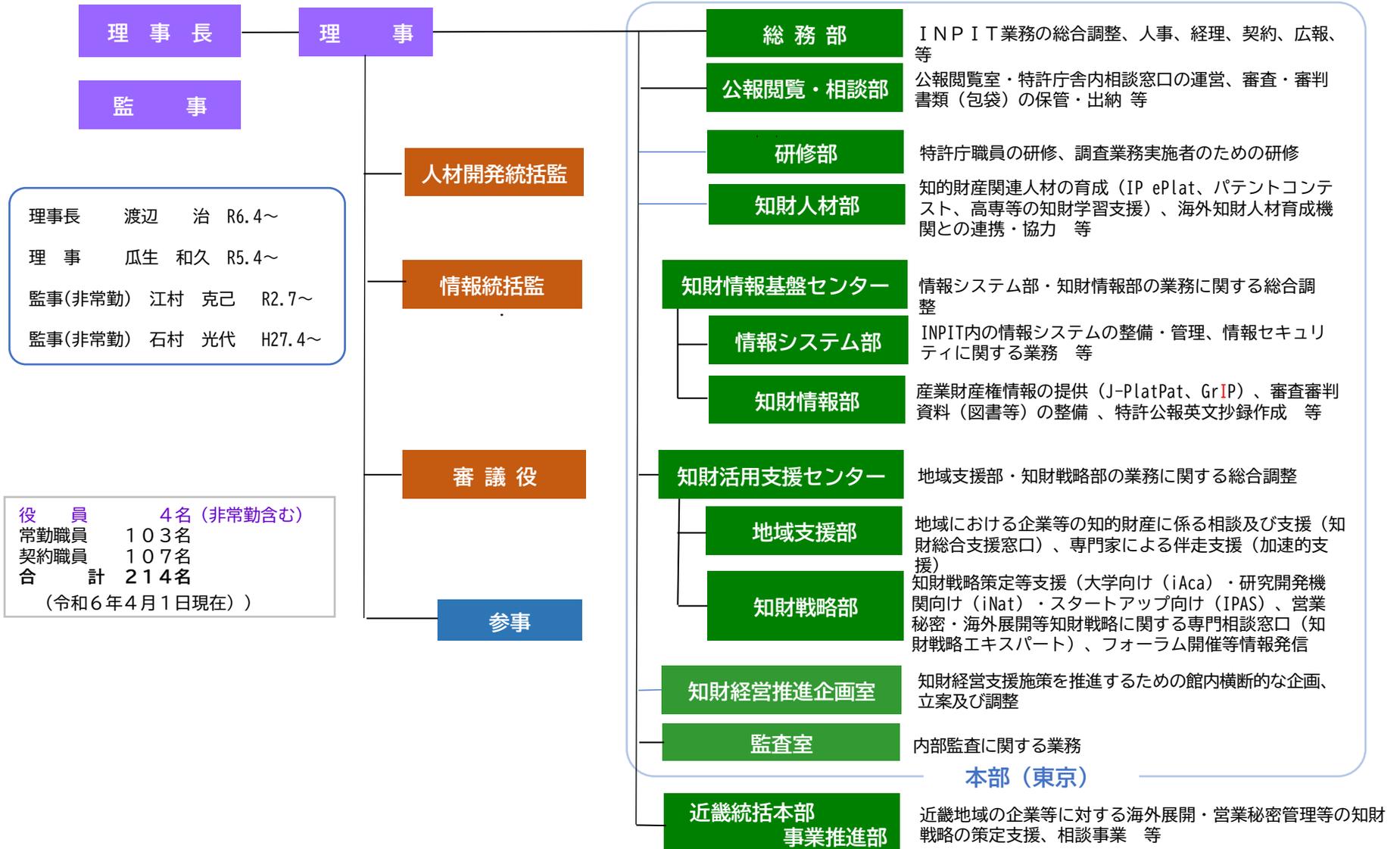
■ 近畿統括本部：大阪府大阪市北区大深町3-1

グランフロント大阪ナレッジキャピタルタワーC9F

○関西知財戦略支援専門窓口 【事業推進部】



2 INPITの組織体制



3 理事長メッセージ



独立行政法人工業所有権情報・研修館（INPIT）へようこそ！

INPITは、知的財産の総合支援機関として、知財制度の基盤を支え、知財の意義を多くの皆さんに知って頂き、その活用を進める活動をしています。

そもそも知財制度にどのような意味があるのでしょうか？ 例えば、その代表例である特許制度を例に考えてみましょう。特許制度は、アイデア<知>を文書という形にして社会の富<財>とし、その権利を保護する制度と言えます。なぜ、特許という形にすると「社会の富」になるのでしょうか？ 専門家であれば、いくつも例を出せると思いますが、ここではINPITの代表的な活動にもかかわる3つに絞って紹介します。

まず、アイデア（発明や技術など）を特許化するには文書にしなければなりません。そのとき、社会での活用という観点から、その発明の特徴・価値が再検討されます。その過程で「ああ、こういう使い方もあるんだ」などという新たな気づきが得られます。それにより、発明が肉付けされ、成長し、社会の富としての価値が形作られるのです。

アイデアは文書という形（データ）にすることで解析ができるようになります。世の中のデータ解析の進歩には目覚ましいものがあります。発明や技術がデータ化されれば、こうしたデータ解析が使えるようになり、それらが今後どのような事業に発展して行きそうか、たとえば、新たな販路や、連携すべき企業やライバル企業が見えてくるでしょう。つまり、特許には企業の未来を分析するための、経営戦略の重要な道具としての価値もあるのです。

特許として形になり、しかも保護されることで、アイデアは社会にデビューできます。すると、様々な人がその活用や発展を考えられるようになり、特許を元にした連携―協創―が可能となるのです。それにより、ある人の頭の中にあったアイデアが、企業に埋もれていた技術が、大きく花開き、社会を変えるような産業に発展するかもしれません。まさに、社会の富となるのです。

INPITは、「知」に、このような価値を与える取り組みへの支援を、そのミッション（使命）として進めて参ります。もちろん、それには弁理士、弁護士、中小企業診断士等の専門家をはじめ、多くの方々のご協力が必要です。INPITは、特許庁と共に、日本弁理士会や日本商工会議所とも連携し、支援事業を進めます。こうした支援における連携だけでなく、知財を介して、産業界、地域、大学等研究機関の様々な連携を演出できるような、そうした「産地学官」の連携の、まさに要となる組織になることを、INPITのビジョン（ありたい姿）として目指します。それとともに、知財に関する情報提供や知財人材育成活動の支援をしっかりと行うことで、INPITのもう一つのビジョンである、身近に知財があり、それにより人々が豊かに暮らせる社会を皆さんと創っていく所存です。

以上のINPITの活動に対し、今後とも、皆様の一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年6月 理事長 渡辺 治



理事長 渡辺 治

4 INPITのミッション・ビジョン・バリュー



ミッション

「知」を芽吹かせ、共に価値にする

知という「財産」(アイデア・技術・デザイン・ブランドなど)を見つけ、共に考え、行動することで、経済的・社会的な価値に繋がります。

ビジョン

知財を身近に、社会を豊かに

生活や経営のそばに知財があり、人々が今よりもっと面白く、賢く、豊かに暮らせる社会を目指します。

知財の輪をつなぐ要に

知財経営支援の中核機関として、情報を届け、多様な人材を育て、結びつけ、ネットワークを築きます。

バリュー

公正、誠実、情熱

独立行政法人として、公正な立場で、誠実に、情熱を持って業務に取り組みます。

挑戦と成長

現状に満足せず、新たな課題解決にチャレンジし、成功からも失敗からも学び、職員及び組織全体が日々成長し続けます。

チームで生み出す成果と信頼

部署間での連携や他の支援機関との連携をスピード感をもって進め、最適なサービスの提供により、信頼される存在となります。

5 INPITの提供する事業について



第六期中期計画と照らし合わせて

1. 知財のエコシステムを支える 知財課題発掘

- ・ 知財総合支援窓口の設置
- ・ 知財戦略エキスパートの設置
- ・ 地域の関係機関と連携した支援
- ・ 伴走支援と知財経営成功事例の創出
- ・ 大学等の研究開発成果の社会実装に向けた知財戦略策定等の支援

3. 知財エコシステムを支える人材 育成

- ・ 知財人材育成教材 (IP ePLat)
- ・ ケーススタディ教材の開発・普及事業
- ・ パテントコンテスト・デザインパテントコンテストの実施
- ・ 知財学習支援
- ・ セミナーの開催

2. 産業財産権情報インフラの整備 とその利活用

- ・ 特許情報プラットフォーム (J-PlatPat)、画像意匠公報検索支援ツール (Graphic Image Park)、新興国等知財情報データベース、開放特許情報データベースの運用
- ・ IPランドスケープ事業
- ・ フォーラムの開催

4. 世界最速・最高品質審査を始め とする特許行政への貢献

- ・ 特許庁職員に対する研修
- ・ 調査業務実施者の育成研修
- ・ 審査・審判関係資料の収集、閲覧サービスの提供及び電子データの整備等

6 INPITの相談窓口、専門の支援窓口

産業財産権相談窓口

特許庁への手続に関する**対面相談(特許庁1階)のほか、電話やWEBフォームでも相談**できます。よくある質問は、知的財産相談・支援ポータルサイト(FAQ)で解決します。

INPIT知財総合支援窓口

中小企業等が抱える様々な**経営課題について、「知的財産」の側面から解決**を図ります。47都道府県に設置しており、地域に根付いた支援を行っています。

海外展開知財支援窓口

海外展開を目指す中小企業等の**知財リスク**に対応策を。

営業秘密支援窓口

企業の命である技術やノウハウ。管理は適切にできていますか？

スタートアップ知財支援窓口

御社のビジネスが**パクられたら**どうしますか？

アカデミア知財支援窓口

大学発スタートアップを創業したい！

関西知財戦略支援専門窓口

近畿地域の企業の海外展開におけるビジネス・知財総合戦略や営業秘密の管理体制構築等に関する支援要請にお応えします。

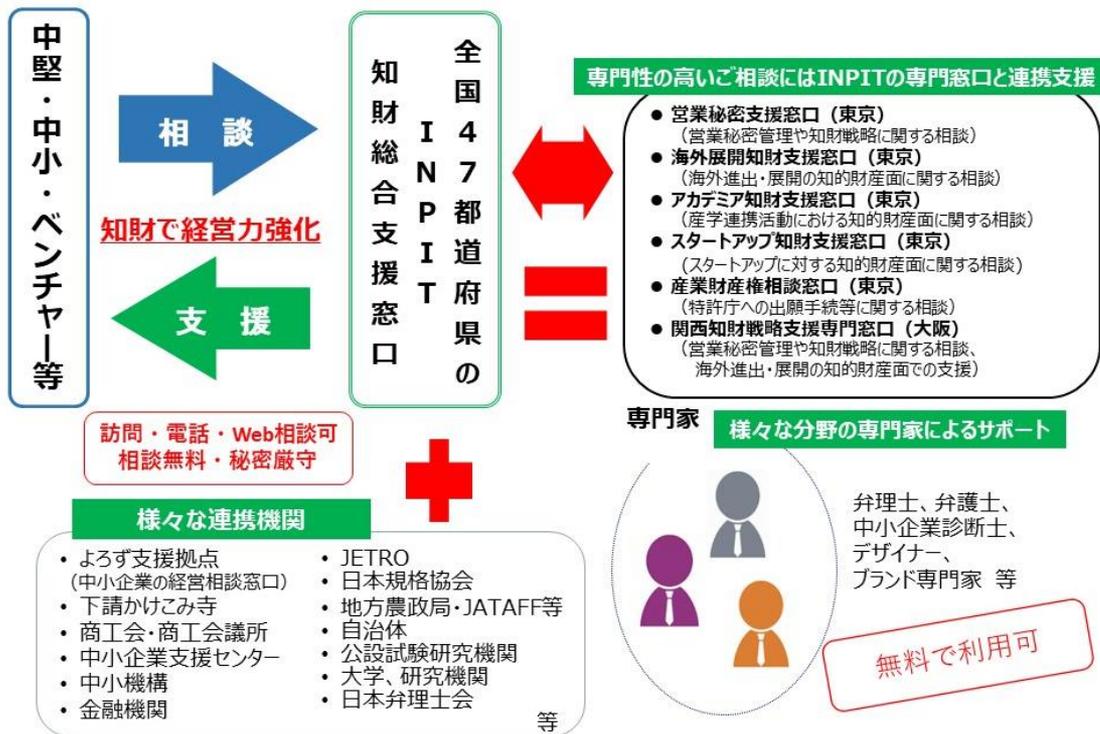


「**知財戦略エキスパート**」が対面、Web会議、メール又は電話にて**無料で**アドバイスします。

7 INPIT知財総合支援窓口におけるサービス



- 中小企業等が抱える様々な経営課題について、自社のアイデア、技術、ブランド、デザインなどの「知的財産」の側面から解決を図る地域に根付いた支援を行う窓口として、「INPIT知財総合支援窓口」を、47都道府県に設置しています。
- 経験豊富な支援担当者が弁理士や弁護士などの専門家や関係支援機関と連携しつつ、経営課題の解決に向けて効率的・網羅的な支援を無料で提供しております。



中小企業支援機関等との連携

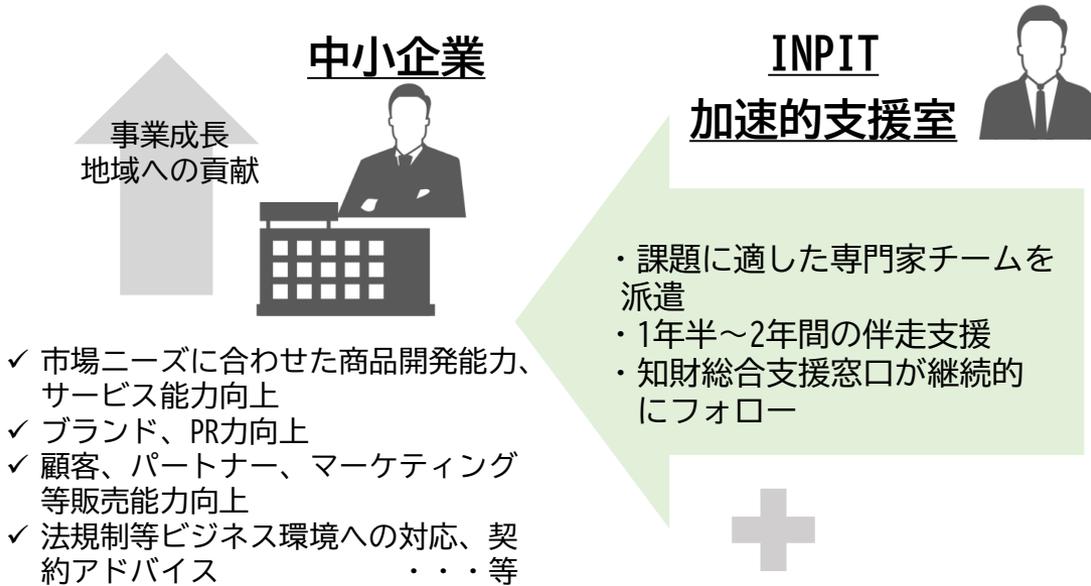
●地域の商工会議所、商工会、よろず支援拠点、中小企業支援センター等の支援機関や自治体、金融機関等との連携を図ることで、幅広くきめ細やかな支援の提供を実現しています。

知財等専門家によるサポート

●相談者の課題の内容に応じて、弁理士、弁護士、中小企業診断士、デザイン専門家、ブランド専門家等によるサポートを実施しています。

7-2 INPIT知財総合支援窓口におけるサービス（加速的支援）

知的資産を活用した事業成長が見込まれる中小企業に対して、INPITから専門家チームを派遣、伴走支援を行うことで、支援先企業の**組織の能力（ケイパビリティ）を高め、事業成長**を実現します。



- ✓ 市場ニーズに合わせた商品開発能力、サービス能力向上
- ✓ ブランド、PR力向上
- ✓ 顧客、パートナー、マーケティング等販売能力向上
- ✓ 法規制等ビジネス環境への対応、契約アドバイス・・・等



チームリーダー及びメンバーは、案件に応じてケースバイケース

支援対象

- 【①知的資産の保有状況】
独自性のあるアイデア・技術・サービス・地域資源など、**経営成長につながる知的資産**を保有している。
- 【②ビジョン・将来性】
経営者が知的資産を活用した**事業成長に対する方向性やビジョン**を有している。
- 【③経営者の人柄・関与】
経営者に**熱意・リーダーシップ**があり、支援を受けるに当たって**積極的に対応・行動**できる。
- 【④社内体制】
支援を受け入れる**社内環境、組織的体力**が望める。
- 【⑤安全性】
支援の実施にあたり、**重要な企業経営上のリスク**がない。

8 知財戦略エキスパート

- 知財戦略に関する高度な専門知識、経験を有する**知財戦略エキスパート**が支援する5つの専門窓口を設置（**相談無料**）
- 知財総合支援窓口や採択型支援、各支援機関とも連携して、円滑に支援を提供
- 採択型支援の支援前後も、知財戦略エキスパートが課題解決をサポート

知財戦略エキスパート



海外展開



営業秘密



産学連携



スタートアップ

- 海外展開知財支援窓口
- 営業秘密支援窓口
- スタートアップ知財支援窓口
- アカデミア知財支援窓口
- 関西知財戦略支援専門窓口

知財総合支援窓口

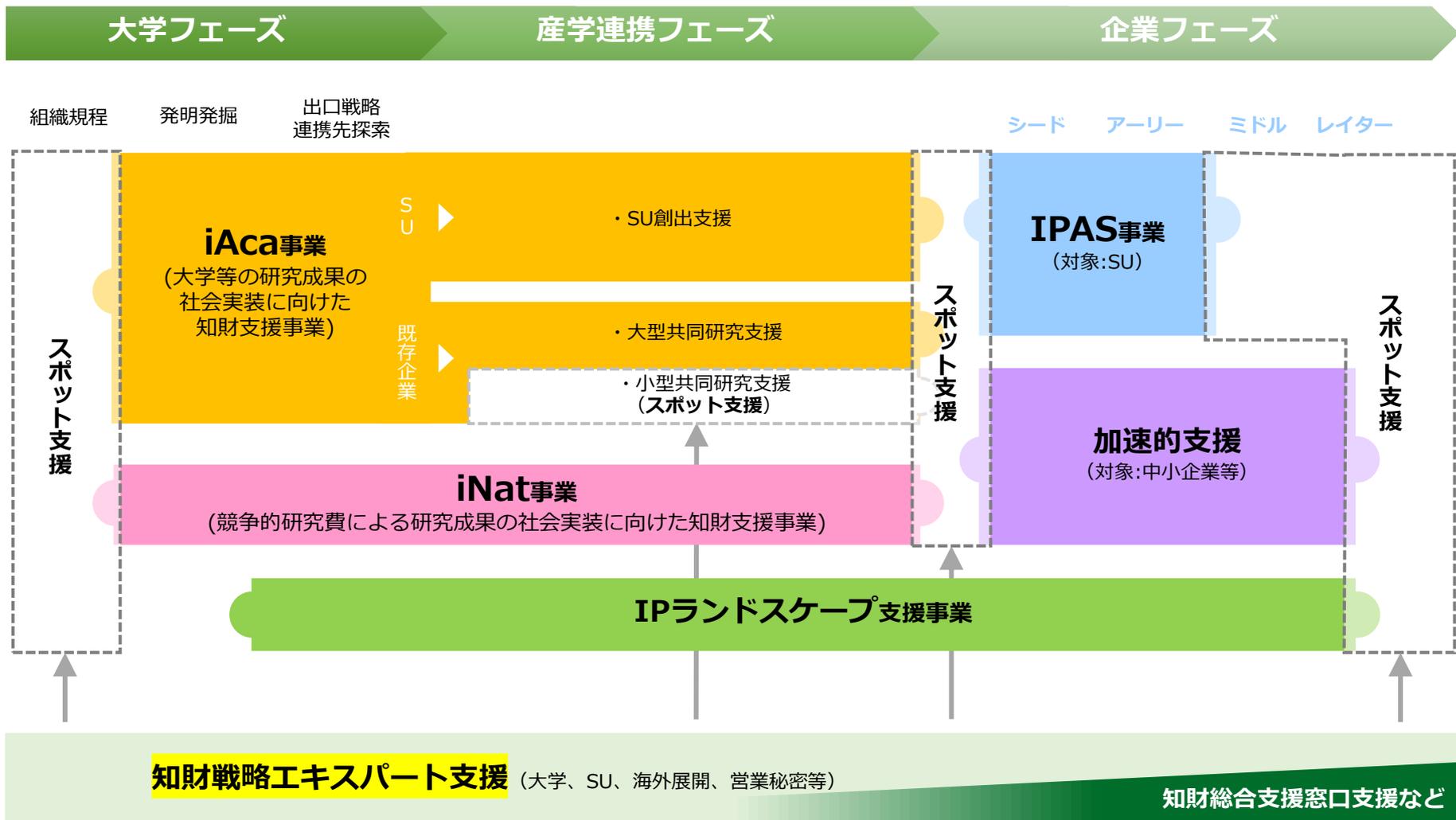


©2024 INPIT

採択型支援

iAca、iNat、IPAS、IPL

9 シーズから事業化までのシームレスな支援体制



10 公募型の知財支援事業（iAca、iNat、IPAS）



- 知財マネジメントの専門家である知財戦略プロデューサーを、採択先に派遣して知財支援を行う事業。
- 産学連携活動を推進する大学等向けのiAca事業、国プロ（※）を推進する機関等やファンディングエージェンシー（FA）向けのiNat事業、スタートアップ向けのIPAS事業の3事業を実施。

※競争的研究費制度に基づく公的資金が投入され、革新的な成果が期待される研究開発プロジェクト

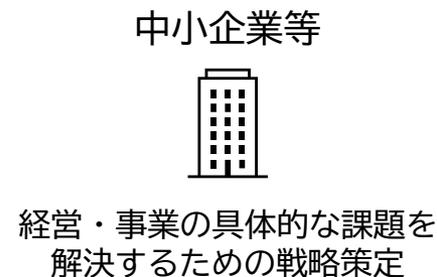
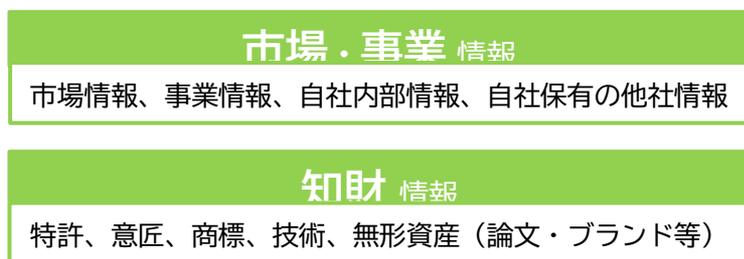


事業名	対象	支援期間	概要
iAca	大学、 高専、 国研	10か月間に 最大30日	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 研究ステージ初期段階のシーズ発掘と出口戦略の策定支援から、事業化に向けた産学連携活動まで一連の支援を実施 ✓ 支援は継続可能（要審査） ✓ 継続する場合、間を空けずに支援を受けることが可能に
iNat (国プロ)	大学、FA、 研究開発 機関等	1年間に 最大90日	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 国プロのプロジェクト初期より、知財の視点から研究開発成果の社会実装を見据えた戦略策定や、社会実装を加速する活動を支援 ✓ 支援は継続可能（要審査） ✓ 支援年数上限を撤廃。長期間におよぶプロジェクトも支援可能に
IPAS	創業期 スタート アップ	5か月間に 10回 (1回2h)	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ビジネスと知財の専門家チームが、適切なビジネスモデルの構築とビジネス戦略に連動した知財戦略の構築を支援 ✓ 令和6年度から採択回数が年2回に増加し、より申請しやすく

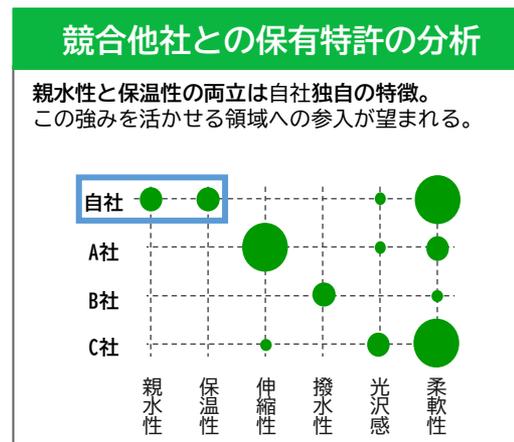
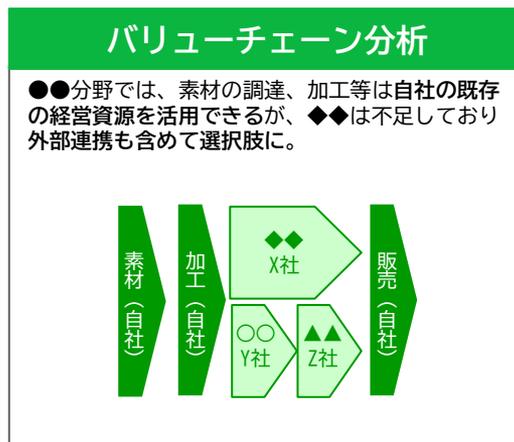
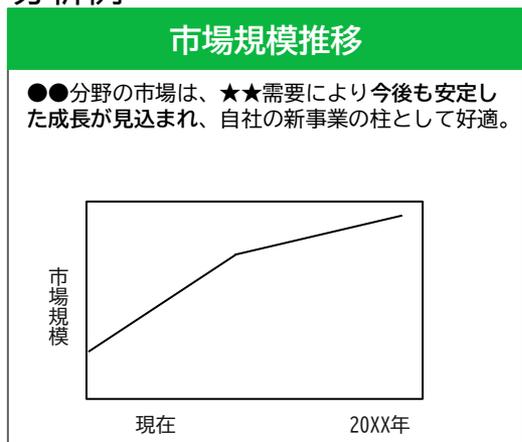
11 IPランドスケープ支援事業



- 中小企業等が抱える経営や事業の課題に対し、「市場」や「事業」の情報に「知財」の情報を合わせた分析を行い、強みを活かした解決策を提案する支援
- 令和6-7年度は、2年で200件程度を支援予定



● 分析例



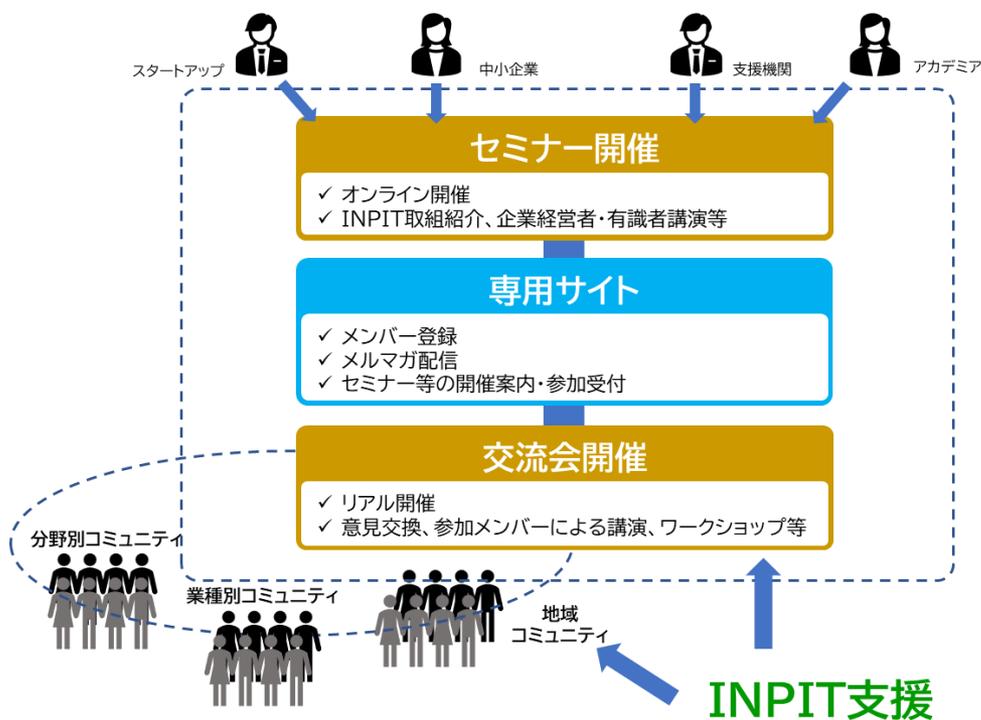
● 中小企業向け IPランドスケープマニュアル（令和5年度作成）
限られたリソースでもIPランドスケープで成果を出せるノウハウが満載です



INPIT
HPをチェック

目的：知財経営支援を担う中核機関として、知財エコシステムの形成に寄与

- 1. INPITや知財に関する**情報発信** ➡➡ 認知・理解の向上
- 2. 参加メンバーの**交流促進** ➡➡ 人材ネットワーク、コミュニティ形成
- 3. 迅速かつ総合的な**支援提供** ➡➡ 支援の裾野拡大



1 情報発信

定期的な**オンラインセミナー**開催やメールマガジン配信を通じて、INPITを周知。

2 交流促進

中小企業、スタートアップ、支援機関等が対面で情報交換できる機会（場）を提供。するため、定期的に**交流会**を開催。INPITがハブとなり**コミュニティ**を形成。

3 支援提供

参加者に**INPIT支援**を提供。参加者から各**コミュニティ**に波及させ支援の裾野を拡大。

14 J-PlatPatとは



J-PlatPat（特許情報プラットフォーム）は、**国内外の特許・実用新案、意匠、商標※**の**情報**（産業財産権情報）を、**無料で閲覧・検索**できるサービスです。

キーワード（会社名・技術用語・ネーミング等）での検索や、分類を用いた検索など、レベルや目的に応じた**様々な検索が可能**で、**出願の審査状況なども確認**できます。

企業の知財関係部署や研究・開発部署、大学など、多くの方に利用されています。

(J-PlatPatトップページ)

The screenshot shows the J-PlatPat homepage. At the top left is the logo and name 'J-PlatPat 特許情報プラットフォーム'. On the right, there are links for 'English', 'サイトマップ', and 'ヘルプ一覧', along with contact information: 'ヘルプデスク (平日9:00-21:00) 03-3588-2751' and 'helpdesk@j-platpat.inpit.go.jp'. A navigation bar contains '特許・実用新案', '意匠', '商標', and '審判'. A red banner below the navigation bar says '重要なお知らせが4件あります' with a '開く +' button. The main content area features a search bar with the text '簡易検索' and a 'ヘルプ' button. Below the search bar, there is explanatory text: '特許・実用新案、意匠、商標について、キーワードや番号を入力してください。検索対象は□ [こちら](#)をご覧ください。分類・日付等での詳細な検索をされる場合は、メニューから各検索サービスをご利用ください。' There are radio buttons for search methods: '四法全て' (selected), '特許・実用新案', '意匠', and '商標'. To the right, there are checkboxes for '自動絞り込み' (checked) and a '?' icon. At the bottom, there is a search input field with examples '例1)人工知能 例2)2019-00012X' and a '検索' button.

(J-PlatPat
へリンク)



【J-PlatPatを使うメリット】

- 産業財産権情報には、最先端技術・他社の技術開発状況など有用な情報が含まれており、これらを活用することで、**他社との重複研究を避ける**ことができ、また、**研究開発や事業展開のヒントを得る**ことができます。
- 新たに製造・販売しようとする商品に含まれる技術・デザイン・ネーミングが他社の産業財産権を侵害していないかどうかを確認することで、製造・販売後に**権利侵害で訴えられるリスクを回避**できます。
- 特許庁への出願前に産業財産権の調査を行うことで、審査において拒絶される出願を控え、**無駄な出願費用を削減**できます。

【コンテンツの提供】

(操作説明動画一覧)

J-PlatPatの操作方法や活用方法に関する以下のコンテンツを提供しています。

- 操作マニュアル・パンフレットの提供
- オンライン講習会を定期開催 (無料)
- 操作方法、活用方法に関する動画の提供
- 企業・団体を訪問し、発展的な内容を説明する個別説明会を実施 (無料)



(企業・団体向け個別説明会)



新興国等知財情報データベース

海外で**知財トラブル**に巻き込まれないために！
海外企業との**交渉や契約**での留意点を知るために！
新興国での**知財・ビジネス環境**を調べるために！

新興国等知財情報 データベース

新興国の知財情報を幅広く提供しています



現在、**約80**の国・地域の記事を**3,500件以上**公開。アクセス数は**年900万件超**。
アクセス数上位は**中国、韓国、台湾**で全体の**約4割**。記事数上位も同じ**3国・地域**で全体の**約3割**。

開放特許情報データベース

企業、大学、研究機関等が実施許諾または権利譲渡の意思のある
開放特許 の情報 **約18,500件** を収録したデータベース！

IP ePlat ってどんなサービス？

IP ePlatは、知財制度の実務や特許庁の審査・審判などの知見・ノウハウを、インターネットでいつでもどこでも学べる、**無料のeラーニング教材**です。

基礎から実践まで**100以上のコンテンツ**を提供、今後も充実化を図ります。研修の修了を確認できる機能もありますので、**社内研修にも活用**されています。

【～ 利用者の声 ～】 ※アンケートから

- ✓ とても**分かりやすい講義の無料提供**に感謝
- ✓ 受講者目線で**講義スピードを変えられる**のがたいへん良い
- ✓ 特許について詳しくない**初心者にもとても分かりやすい内容**
(知財制度の概要／初心者向け説明会)



初めての方これからの方・若年層向け
ビジネスプランを磨き上げるための知的財産の基礎知識 本編
マネされたら、あなたの気持ちは？

何度か試していたら、すごく飛ぶ紙飛行機が出来た。
今度は、そのアイデア、ほくも使わせてよ。

おこる ふつう うれしい

かっぴに マネしよう
マネして作っていい？
これ、すごいアイデアだね！ほくも同じものを作ってみたい
こんな、くふうを加えてみたよ

IPePlat
ビジネスプランを磨き上げるための知的財産の基礎知識

マネしてはいけない ではなく・・・
人のアイデアを大切に。 リスペクトの元に許諾を得てWIN-WINへ

資料.pdf 用講集 一覧に戻る 次の章へ

©2014-2023 YAMAGUCHI UNIVERSITY All rights reserved. 71



独立行政法人 工業所有権情報・研修館
National Center for Industrial Property
Information and Training

本資料については、総務部広報・情報公開担当まで
お問い合わせください。

【お問い合わせ先】

〒105-6008 東京都港区虎ノ門4-3-1
城山トラストタワー8階
TEL 03-3501-5765（直通）

「本資料に関する著作権は、（独）工業所有権情報・研修館に帰属します。本資料を許可無く転載することを禁じます。」